



介護事業所番号：1131901263

歯科定期検診の重要性

治療が終わったから歯医者さんへ行かないという方は多くいらっしゃると思いますが。中には治療途中でも行かなくなる方も良く聞きます。そんな方へ今回は定期検診(メンテナンス)の重要性をご紹介します。

入れ歯の不具合

入れ歯をしばらく使っていると、入れ歯が合わずに歯茎が痛くなることによくあります。痛みを引き起こす原因は様々な事がありますが、ここでは何点かご紹介いたします。

① 入れ歯の歯がすり減って噛み合わせが合わなくなる。

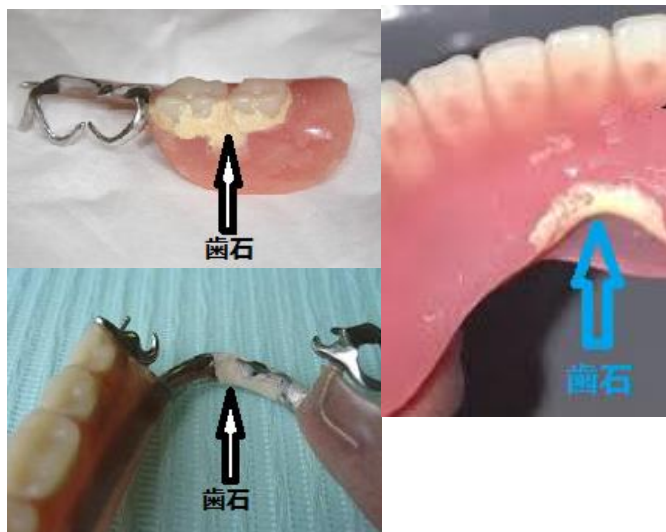
保険で作った入れ歯はプラスチック素材を使用していますのでどうしても歯がすり減ってしまいます。噛み合わせがうまくいかない事で噛み込



んだ時にかかる力がうまく分散できず力が偏ってしまいます。事があります。

② 歯石付着による入れ歯のあたり

皆さん入れ歯にも歯石が付着するのはご存知でしょうか？
左の写真のように入れ歯にも歯石が付着します。こうなると歯ブラシや義歯ブラシだけでは汚れを落とせません。



③ 歯茎の土手がやせてきたことにより入れ歯がゆるくなる。

歯を失ってもしばらくは歯を支えていた歯茎が土手のように残り、一般的な入れ歯は、この土手に乗せて、唾液の吸着力などで固定します。

ところが歯茎は歯が抜けると、支えていた骨がやせ細っていき約20年ほどで平になってしまふと言われていきます。そのため徐々に入れ歯が合わなくなってくるのです。

そうなる左の写真のように入れ歯の不具合からくるお口のトラブルが出てしまいます。
一般的に入れ歯を外せば2〜3日で治りますがその間入れ歯を使用することはできません。それで治ったとしても入れ歯を調整しないと使うたびに痛みが起るのが普通です。



①②③だけが原因ではありませんが、このような事から痛みが出て歯科受診の申し込みをされる方が多いです。

内科受診と同様に定期健診を!

内科受診は特に何もなくても月一回受診される方は多いと思います。歯科も同じように不具合がないように定期検診を行って日頃から予防しましょう。

